

電子材料・デバイス先端技術動向調査報告会

—平成22年度「電子材料・デバイス技術専門委員会」活動成果報告—

一般社団法人 電子情報技術産業協会(JEITA)では、「電子材料・デバイス技術専門委員会」を設置し、IT・エレクトロニクス産業の今後の発展にとって重要な電子材料・デバイス技術の先端技術分野について各種調査を実施しておりますが、平成21年度から2年間の調査で得られた各成果を広く公表するため先端技術調査報告会を実施することとしました。今回の報告会では、招待講演者に赤坂洋一氏(株)マグナデザインネット)および桜井貴康先生(東京大学)に、ご講演をお願いすることとしております。この機会に是非とも幅広い分野の方々にご参加を賜りたく、ご案内申し上げます。



日 時: 平成23年7月22日(金) 13:20~16:50

場 所: 財団法人 日本教育会館 第2会議室(8階)

東京都千代田区一ツ橋2-6-2

TEL: 03-3230-2831、(道案内専用電話): 03-3230-2833

<http://www.jec.or.jp/koutuu/>

主 催: 一般社団法人 電子情報技術産業協会

企 画: 電子材料・デバイス技術専門委員会

申込期限: 平成23年7月15日(金)

120名 (定員になり次第締め切らせて頂きます。)

参加費: 2,000円(会 員)

5,000円(非会員)

※23年度電子材料・デバイス技術専門委員会参加企業は無料

■プログラム 司会・開催挨拶 島 頭 洋 電子材料・デバイス技術専門委員会 委員長〔三菱電機〕

時 間	テーマ / 講 師
13:20~13:25	【開催の挨拶】 島 頭 洋 電子材料・デバイス技術専門委員会 委員長〔三菱電機〕
13:25~14:15	【招待講演①】 「産学連携への期待」—シリコンバレーと日本— 赤坂 洋一 氏 大阪大学招聘教授 株式会社マグナデザインネット社外取締役
14:15~15:05	【招待講演②】 「アンビエントエレクトロニクス」 桜井 貴康 氏 東京大学 生産技術研究所 教授

90年代以降の日本企業の技術開発力の低下や、イノベーションへの幅広い欲求を満たして国際競争力を強化する戦略として産学連携があり、これは大学の昨今の目指すところとも合致する。政府もシリコンバレーをモデルとするクラスター政策など支援を行っており、産学連携が叫ばれてから10年以上が過ぎ、第2段階に入りつつある。産学連携への期待とシリコンバレーと比較した日本の問題などを考えたい。

人々の安全で豊かな生活を支援するため、環境に偏在し、意識しないで使われるアンビエント・エレクトロニクス。そのようなアンビエント・エレクトロニクスに必要な特性をまとめるとともに、いくつかの先端エレクトロニクス技術をアンビエント・エレクトロニクスの視点から紹介する。

休 憩

15:15~16:00	【調査報告①】 「ナノカーボンデバイスの最新動向について」 —グラフェン、ナノチューブの成長から新規デバイス応用まで— 松本 和彦 氏 大阪大学 産業科学研究所 教授/ナノカーボンエレクトロニクス技術分科会 委員長
16:00~16:45	【調査報告②】 「フレキシブルデバイス技術動向」 —電子ペーパーからウェアラブルまで— 染谷 隆夫 氏 東京大学 工学系研究科 教授/フレキシブルデバイス技術分科会 委員長

※ 委員会名称及び委員会での役職は、基本的に平成22年度のものとなります。

■申込要領 参加申込書に必要事項をご記入の上、お申込み下さい。登録完了時には、ご登録E-mailアドレスに確認メールをお送り致します。また、ご登録のご住所宛てに「受講票」と「請求書」をお送り致します。下記のURLもご参照下さい。

<http://home.jeita.or.jp/tech/>

■申 込 先 〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-1-3

一般社団法人 電子情報技術産業協会 知的基盤部 技術戦略グループ(布川、高橋、澤田)

TEL 03-5218-1059 FAX 03-5218-1078 tsc4@jeita.or.jp

プログラムの内容につきましては、変更となる場合もありますので予めご承知おきください。